



## 全国で初めて自動販売機で鹿せんべいの販売を開始 ～「奈良のシカ」と人が共生できる環境を未来に繋ぐ～

### ■春日大社境内に鹿せんべいの自動販売機を設置

2022年10月、一般財団法人奈良県ビジターズビューローは、ダイドードリンク株式会社と連携して、奈良公園にある鹿の保護施設「鹿苑<sup>ろくえん</sup>」と春日大社駐車場内の2か所に全国で初めて飲料とともに鹿せんべいなどを販売する「I LOVE シカ自動販売機」（以下、本自販機）を設置した。本自販機は24時間稼働しており、有人販売が行われていない時間帯でも購入できるよう利便性を高めるとともに、観光客らが鹿せんべい以外の食べ物を与えることを防止する狙いもある。

奈良公園を中心に生息する「奈良のシカ」（以下、シカ）は国の天然記念物に指定されている野生動物。シカは芝やドングリを主食としているため、砂糖や油、添加物を含む人間の食べ物は消化しにくく健康に悪影響があるほか、野菜なども味を覚えることで周辺の農作物を荒らすことに繋がる恐れがあるため、小麦粉や米ぬかで作られた鹿せんべい以外のモノを与えることは禁じられている。鹿せんべいは、奈良公園内で許可を受けた業者により午前8～9時頃から午後4時頃まで販売しているが、「夕方以降も鹿せんべいを買いたい」との声が上がっていたことと、スナック菓子や野菜くずなどを与える人が絶えないことが課題であったという。

### ■シカが食べても安全な素材の紙箱入りで販売

本自販機で販売する鹿せんべいのパッケージには、株式会社ペーパル（奈良市）の廃棄米を活用した紙素材「<sup>コメ</sup>カミ<sup>カミ</sup>」が使われている。「シカに優しくありたい」という想いを込めて、湿気を防ぐ工夫が施されている上、シカが食べても安全なように配慮されている。また、「鹿せんべい以外はあげないで」「小さい子はおとなと一緒に！」などシカとの適切な接し方に関するメッセージや

鹿のイラストが記された六角形の紙箱は、蓋に「奈良のシカ」保護啓発ポスターコンクール受賞作品の一部がデザインされており、ゴミとして捨てるのではなく、持ち帰って小物入れなどとして使えるよう可愛らしく仕上がっている。

### ■シカと人が長く共生できる地域社会を目指す

県ビジターズビューローによると、これまでに約2,000個を販売しており、これらの売上の一部は、一般財団法人奈良の鹿愛護会の活動に役立てられている。同ビューローの中西康博専務理事は「昔から受け継がれてきた“街中に原生林と野生動物が溶け込んでいる風景”を誇りに思う。このパッケージを通じて奈良公園を訪れる人々に鹿との適切な関わり方への啓発活動ができればと期待している。シカと人が長く共生できる環境を整備し、未来に繋ぎたい」と想いを語る。（八木陽子）



「I LOVE シカ 自動販売機」の一部分。鹿せんべいと同じ箱に入った鹿角ストラップやバンビレザチャーミングも販売されている（左）、自販機で販売されている鹿せんべい（右上）とパッケージ（右下）

#### 【お問い合わせ先】

一般財団法人 奈良県ビジターズビューロー  
〒630-8361  
奈良県奈良市池之町3 奈良県猿沢イン3階  
TEL：(0742) 23-8288  
FAX：(0742) 23-8289  
HP：<http://nvb.nara-kankou.or.jp/>